

アロマテックス A・B



防食・制振・断熱用塗装剤

アロマテックスは、アスファルト類、各種繊維質（アスベスト以外）、フィラー及び石油系溶剤等から成る黒色ペースト状の塗料で、その耐久性ある乾燥塗膜は防食性、制振性に優れた特性を持っております。自動車、バス等の床裏、ドアの内面、フェンダーの下側、トランクルームの内面塗装、エレベーター側板の内面、発電機、変電器、コンプレッサー、クーラー等カバー類。機械・装置類の下面その他腐食し易い部分の防食塗装。

性 状

		アロマテックスA (へら付け用)	アロマテックスB (吹き付け用)
外 観		黒色 均一ペースト状	
比重		1.30±0.03	1.27±0.03
加熱残分		83±3%	81±3%
塗付量	乾燥膜厚 1.0mm	2.0~2.5kg/m ²	
乾燥時間 (20℃)		指触乾燥：70分 半硬化：2~3日 完全硬化：約1ヶ月	指触乾燥：110分 半硬化：3~4日 完全硬化：約1.5ヶ月

使 用 方 法

1. 素地調整 さび、油分、水分、ほこり等アロマテックスの付着を妨げるものを取り除き、被塗面を清浄にしてください。
2. 塗 装 アロマテックスを1.5mm~3.0mm厚（乾燥膜厚：1.0~1.8mm）に均一に塗装します。防錆（防食）や保温を主な目的とする場合は、塗り残しや塗りむらの無い様に均一性を重視してください。防振を主な目的とする場合に平面部（鉄板等の広い部分）の中央部を厚めに塗装してください。
イ. へら付けの場合は、腰の強いへらを使用してください。
※ 刷毛での塗付はできません
ロ. 吹付けガンの口径は5~7mm位のリシガンを使用し、圧力は0.5MPa程度、ガンと塗装物との距離は30~50cmで塗装してください。
ハ. 希釈及び器具の洗浄には、塗料シンナーを使用してください。
3. 乾 燥 アロマテックスは一般塗料と異なり厚膜で塗装することにより、性能を発揮いたしますので、溶剤分の揮発には長時間を要します。従って、完全硬化する前に塗装物を積み重ねたり、或いは塗装面を密封状態にする事は、避けてください。

荷 姿 20kg：18Lグリス缶 ， 5kg：4L丸缶（4缶入りダンボールケース）



三彩化工株式会社

<http://www.sansai.com>

ISO 9001・14001 認証取得

本社・工場 〒531-0076 大阪市北区大淀中 3-5-30
大阪(営) TEL 06-6451-7851(代) FAX 06-6451-1187
東京(営) 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-7-20
TEL 03-3371-3681(代) FAX 03-3366-1865
名古屋(営) 〒454-0013 名古屋市中川区八熊 1-3-10
TEL 052-321-2051(代) FAX 052-322-3790
広島(駐) TEL 090-3357-9824

アロマテックス A・B

参考試験データ

* 乾燥膜厚 1.0mm 完全硬化乾燥後での塗膜試験結果

項目	結果	試験方法
流れ試験	垂下なし	80℃、60分、垂直
付着性	評価 8 (95%以上付着)	JIS K 5400 8.5.1:1990 2mm 間隔, 25 マス
耐衝撃性	割れ及びはがれなし	JIS K 5400 8.3.2:1990 デュボン式
耐水性	異常がない	JIS K 5400 8.19:1990 (18 時間)
耐沸騰水性	異常がない	JIS K 5400 8.20:1990 (30 分間)
耐塩水性	異常がない	JIS K 5400 8.23:1990 (96 時間)
耐熱性	異常がない	80℃ 1 時間
耐中性塩水噴霧性	異常がない	JIS K 5600-7-1:1999 (48 時間)

* 塗装時の厚み, 所要量, 乾燥膜厚の関係 (アロマテックス A, B 共通)

塗装時厚み	1mm	2mm	3mm
所要量	1.2~1.4 kg/m ²	2.2~2.3 kg/m ²	3.2~3.7 kg/m ²
乾燥膜厚 平均値	0.7mm	1.2mm	1.8mm

作業上の注意

1. 取り扱い作業時は保護めがね、ゴム手袋、保護マスク等の保護具を着用してください。
2. 換気のよい場所で作業してください。
3. 乾燥膜厚 1.0mm 以上において、性能を発揮いたします。そのため、0.7mm 厚以下の場合は、吹付け塗装の際に起こるエアによる凹み、ピンホール等が下地に達する危険性があり、耐食性も低下します。アロマテックスの特性を充分生かすため、塗付量は 2kg/m²以上にしてください。
4. アロマテックスには第3種有機溶剤が含まれています。塗装中及び乾燥中は火気厳禁とし、風通しを良くしてください。
5. アスファルトプライマーや一般のサビ止め塗料面によく密着しますが、反面、アロマテックスへの着色塗料の上塗りはブリードしますので避けてください。
6. アロマテックスはアスファルトを含む関係上、乾燥後も耐油性は強くありません。従って油類と常時接触する部分等への使用は避けてください。

主な適用法令

消 防 法	: 指定可燃物 (可燃性固体類)
有機溶剤中毒予防規則	: 第3種有機溶剤含有物
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質管理排出把握促進法	: 1,2,4-トリメチルベンゼン

その他安全に関する詳細な内容は、安全データシート (SDS) をご参照ください。